

## 基本研修（講義）

日程	時間割	科目	受講時間数（時間）	
第1日目	8月5日(月)	9時30分～45分	オリエンテーション	
		9時45分～11時15分	1 人間と社会 ①介護職員と医療的ケア ②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに関する制度	0.5 1
		11時45分～13時15分	2 保健医療制度とチーム医療制度 ①保健医療に関する制度 ②医療的行為に関する法律 ③チーム医療と介護職員との連携	1 0.5 0.5
		14時15分～18時00分	3 安全な療養生活 ①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 ②救急蘇生法	2 2
		計	7.5	
第2日目	8月19日(月)	9時30分～12時	4 清潔保持と感染予防 ①感染予防 ②職員の感染予防 ③療養環境の清潔、消毒法 ④滅菌と消毒	0.5 0.5 0.5 1
		13時～16時	5 健康状態の把握 ①身体・精神の健康 ②健康状態を知る項目（バイタルサインなど） ③急変状態について	1 1.5 0.5
		計	5.5	
第3日目	8月26日(月)	9時30分～13時	6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引論 ①呼吸のしくみとはたらき ②いつもと違う呼吸状態 ③喀痰吸引とは ④人工呼吸器と吸引	1.5 1 1 2
		14時15分～17時30分	⑤こどもの吸引について ⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	1 0.5
		計	7	
第4日目	9月2日(月)	9時30分～13時30分	⑦呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して） ⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 ⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	1 1 2
		14時15分～18時15分	7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 ①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 ②吸引の技術と留意点	1 3
		計	8	
第5日目	9月9日(月)	9時30分～17時 (昼休憩1時間)	③吸引の技術と留意点 ④喀痰吸引委ともなうケア ⑤報告および記録 8 高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ①消化器系のしくみとはたらき ②消化・吸収とよくなる消化器の症状	2 1 1 1.5 1
			計	6.5
第6日目	9月16日(月)	9時30分～18時 (昼休憩1時間)	③経管栄養とは ④注入する内容に関する知識 ⑤経管栄養実施上の留意点 ⑥子どもの経管栄養について ⑦経管栄養に関する感染と予防 ⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 ⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 ⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1 1 1 1 1 0.5 1 1
			計	7.5
第7日目	9月30日(月)	9時30分～18時30分 (昼休憩1時間)	9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説 ①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 ②経管栄養の技術と留意点 ③経管栄養に必要なケア ④報告および記録	1 5 1 1
		計	8	
第8日目	10月7日(月)	9時30分～9時45分	筆記試験説明・準備	0.25
		9時45分～10時45分	筆記試験	1
		10時45分～11時30分	採点・採点後結果発表	0.75
		11時30分～12時	救急蘇生法（講義）	0.5
		12時～12時15分	追試準備	0.25
		12時15分～13時15分	追試試験	1
		13時15分～13時30分	採点・採点後結果発表	0.25
		計	4	

## 基本研修（演習）

第9日目	10月21日(月)	9時30分～18時30分 (昼休憩1時間)	救急蘇生法（演習） 喀痰吸引（演習） 口腔内の喀痰吸引 鼻腔内の喀痰吸引 気管カニューレ内部の喀痰吸引	1 7
			計	8
第10日目	10月28日(月)	9時30分～18時30分 (昼休憩1時間)	経管栄養（演習） 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 経鼻経管栄養	8
			計	8

## 実地研修

研修期間	2024年10月29日（火）～2025年10月28日（火）	1. 口腔内吸引（10回以上） 2. 鼻腔内吸引（20回以上） 3. 気管カニューレ内部吸引（20回以上） 4. 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養（20回以上） 5. 経鼻経管栄養（20回以上）
------	-------------------------------	---